

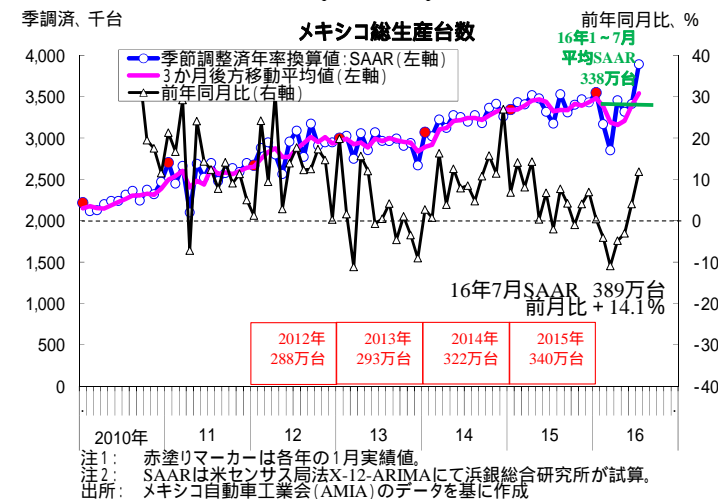
メキシコ自動車市場月次統計（2016年7月）

内需拡大が続くが、引き続き米国向け輸出に対する逆風が強まる可能性に要警戒

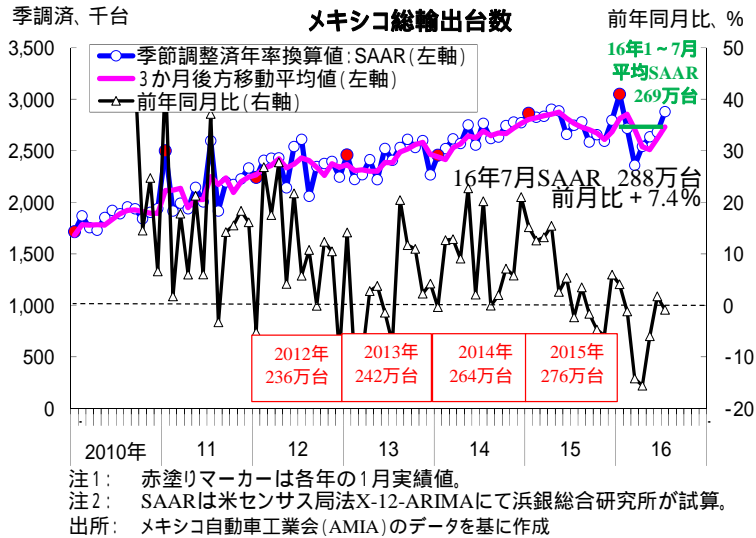
2016年7月の生産台数は年率 389 万台と、15 暦年実績 340 万台を大きく上回った

- ・メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した16年7月の総生産台数は、前年同月比 11.8%増と2か月連続で前年超えし、季節調整済年率換算値(当社試算、以下 SAAR)も前月比 14.1%増の 389 万台と大幅に増加した（図表1）。年率換算値でみた1～7月平均の生産台数（338万台）は15 暦年実績（340万台）を若干下回る水準である。国内販売の堅調さが続いたことに加え、輸出の増加が増産を後押しした。
- ・7月の統計で目を引くのは、停滞感の強かった輸出が大幅に増加したことである。7月の総輸出台数は前年同月比 0.9%減と5か月ぶりに前年超えした6月から反転減少となったが、SAARは前月比 7.4%増の 288 万台と4か月連続で増加した（図表2）。1～7月の輸出台数の平均 SAAR（269万台）は、15 暦年実績（276万台）を下回る水準だが、7月単月では15 暦年実績を超える水準となっている。
- ・なお、ここ数か月間、輸出が堅調な背景のひとつとして、5月に起亜自動車の新工場が稼働を開始し、新型車の投入が乗用車の輸出増加に寄与していると推測される。もっとも、メキシコの主要輸出国である米国での新車販売の減速が続いているに点には引き続き要注意である。
- ・米国の7月の新車販売台数（SAAR）は前月比 3.0%増の 1,743 万台（弊社試算）となった（図表3）。年初からの減少トレンドから増加基調に転じているものの、足元の販売は一進一退の域を脱していない上に、大手メーカーが販売奨励金を積み増し、市場全体ではローン残高が増加し、リース販売比率も上昇しているなど、競争激化を背景に需要の脆弱性が強まっている。米国新車販売の減速懸念が一層高まっており、メキシコからの自動車輸出に対する逆風が強まる可能性には要警戒である。
- ・一方、メキシコの7月の総販売台数は前年同月比 17.9%増と27か月連続でプラスとなった。SAARは前月比 1.8%減の 170 万台となったが、1～7月の総販売台数の平均 SAAR（155万台）は15年実績（135万台）を上回っており、国内販売は堅調さを保っている（図表4）。内需拡大がメキシコ自動車生産を下支えしている状況が続いている。

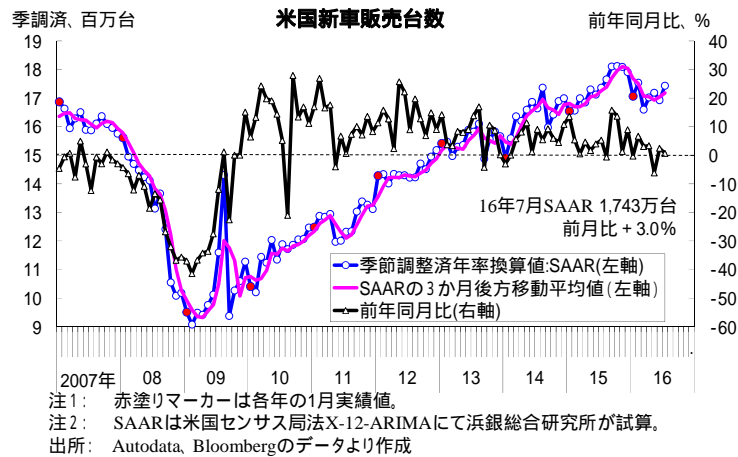
図表1 7月生産台数（SAAR）は2か月連続の増加



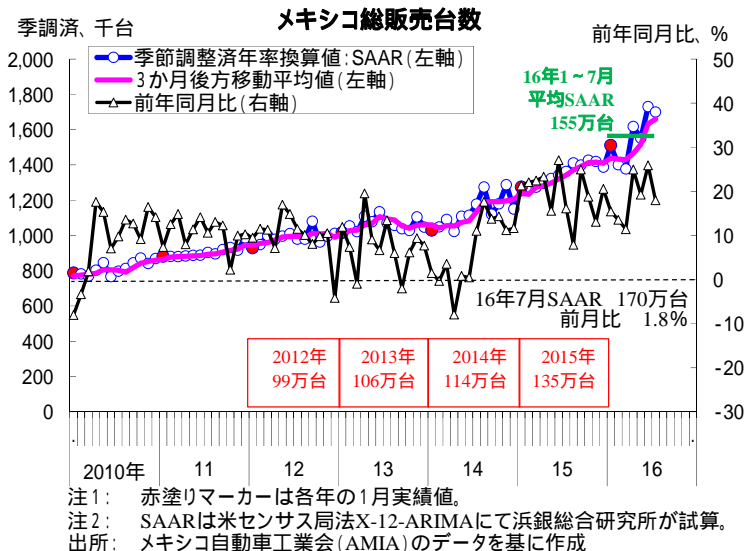
図表2 7月の輸出は前月比で大幅増



図表3 7月の米国新車販売は増加したが競争は激化



図表4 国内販売は右肩上がりのトレンドが続く



担当: 調査部 産業調査室 深尾三四郎

Tel: 045-225-2375

Email: fukao@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部の信頼できると考える情報源に基づいたものでありますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。